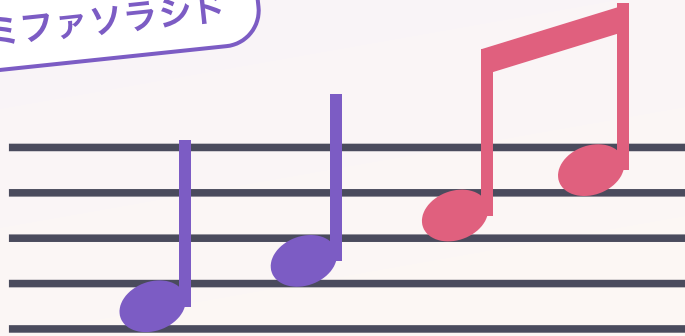


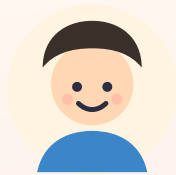
ドレミファソラシド



音階って世界中にあるんだ

音階（スケール）

音の並び方には、いろいろな種類がある



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

音階のきほん	3～5
長調の音階	6～7
短調の音階	8～10
音階の世界	11～12
音階を使う	13～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

音を順番に並べたものを、音階といいます。

音階には、明るく聞こえるもの、暗く聞こえるもの、世界の地域ごとに独自のものなど、いろいろな種類があります。



- 音階は、メロディを作るときの「音の材料箱」のようなものです。
- 同じ音階を使っても、並べ方や長さを変えれば、ちがうメロディになります。

1. 「ドレミファソラシド」を、声に出して歌ってみよう。

ハ長調の音階

ハ長調は、＃や♭を使わない音階です。

ハ長調（ハちょうちょう）

C major

ドから始まり、＃や♭を使わない音階

ハ長調の音階



ドから次のドまで、白けんばんだけを順にひくと、ハ長調の音階になります。

ポイント

- ハ長調は、ピアノの白けんばんだけで演奏できる、いちばん基本の音階です。
- 多くの音楽の授業で、最初に習う音階です。

やってみよう

- 上の音階を、ドから高いドまで声に出して歌ってみよう。

書いて覚えよう

全音と半音のならび

音階には、決まった間かくの並び方があります。

音の間	間かく
ド→レ	全音
レ→ミ	全音
ミ→ファ	半音
ファ→ソ	全音
ソ→ラ	全音
ラ→シ	全音
シ→ド	半音

ポイント

- 長調の音階は、「全音・全音・半音・全音・全音・全音・半音」の順に並んでいます。
- この並び方が、明るく聞こえる音階の秘密です。

やってみよう

1. 表の中で、半音になっている場所を2つとも書こう。 _____

書いて覚えよう

ト長調は、ソから始まり、ファ#を1つ使う音階です。

G major

ソから始まり、ファに#がつく音階

音 ソ ラ シ ド レ ミ ファ# ソ

- ソから始めて、同じ「全全半全全全半」の並びを作ると、ファに井が必要になります。
- 調が変わると、音階の始まる音と、必要な井・bの数が変わります。

1. ト長調の音階で、 $\sharp$ がつく音はどれですか。

へ長調は、ファから始まり、シ♭を1つ使う音階です。

F major

ファから始まり、シに♭がつく音階

音 ファ ソ ラ シ♭ ド レ ミ ファ

- ファから始めて「全全半全全半」の並びを作ると、シにbが必要になります。
- ハ長調・ト長調・ヘ長調は、どれも同じ「明るい」並び方を持つ長調の仲間です。

1. へ長調の音階で、 b がつく音はどれですか。

短音階ってなに？

短音階は、長調とちがう間かくの並びを持つ音階です。

短音階（たんおんかい）

minor scale

長調とはちがう並び方を持つ、暗く聞こえやすい音階

ポイント

- 短音階は、全音と半音の並び方が長調とちがいます。
- 一般に、長調は明るく、短音階（短調）はしんみりした感じに聞こえやすいといわれます。
- 感じ方には個人差もあります。

やってみよう

1. 「明るい感じ」と「しんみりした感じ」、それぞれどんな場面で聴きたいですか。

書いて覚えよう

イ短調は、ラから始まり、 $\sharp \cdot b$ を使わない短音階です。

A minor

ラから始まり、＃や♭を使わない短音階

音 ラ シ ド レ ミ ファ ソ ラ

- イ短調は、ハ長調と同じ白けんばんだけを使いますが、始まる音がラでちがいます。
- 同じ音を使っても、始まる音がちがうと、聞こえ方の印象が変わります。

1. イ短調の音階は、何の音から始まりますか。

短音階には、3つの種類があります。

5音音階（ペントトニック）・日本の音階

5つの音だけでできた音階もあります。

5音音階（ヨナ抜き）



ファとシをぬいた「ド・レ・ミ・ソ・ラ」の5音で、日本の童謡にもよく使われる音階です。

ポイント

- 5音音階（ペントニック）は、1オクターブを5つの音だけで表す音階です。
- 日本の伝統音楽やわらべうたにも、5音を中心とした音階が多く使われています。

やってみよう

1. 上の5音を使って、好きな順に4つ並べて短いメロディを作ってみよう。

書いて覚えよう

クラシックやポップスでよく使われる

日本やアジアの音楽、民謡に多い

地域や文化によって、それぞれ特ちょうがある

- 音階は、地域や文化の歴史とともに育まれてきました。
- 耳になじみのない音階を聴くと、新鮮な印象を受けることがあります。

1. 日本以外の国の音楽を1つ聴いて、知っている音階と感じがちがうか書こう。



- 歌うときは、音の高さの変化を体で感じながら声を出しましょう。
- 楽器でひくときは、指の動きと音の高さを結びつけて覚えましょう。

1. ハ長調の音階を、ドから高いドまでゆっくり歌ってみよう。

音階を上げる・下がる

音階は、上がるだけでなく、下がる練習も大切です。

ポイント

- 音階を下から上まで歌う練習を「上行（じょうこう）」、上から下まで歌う練習を「下行（かこう）」とよびます。
- 下行は、上行よりも音がとりにくく感じる場合があります。

やってみよう

1. ハ長調の音階を、高いドからドまで下がりながら歌ってみよう。

ワンポイント 下がる時に音が下がりすぎてしまう人は、1音ずつゆっくり確認しながら歌うとよいでしょう。

書いて覚えよう

音階の書き方

音階を、五線に書いてみよう。

ポイント

- 音階を書くときは、まず始まりの音を決め、そこから1つずつ音を積み上げていきます。
- 長調なら「全全半全全全半」の間かくになるよう、音を選びましょう。

やってみよう

1. ハ長調の音階を、ドレミファソラシドの文字で書いてみよう。

書いて覚えよう

Handwriting practice lines for the scale exercise.

- 毎日少しずつ、ゆっくりから始めるのが上達の近道です。
- 音階練習は、指ならしや発声練習としても役立ちます。
- できるようになったら、少しずつ速さを上げてみましょう。

1. ハ長調の音階を、今日から3日間、毎日1回歌ってみよう。

3. ミ→ファの間かくは、全音・半音のどちらですか。

音階の音を使って、短いメロディを作ってみよう。

音階の音を使って、短いメロディを作ってみよう。

やってみよう

1. ハ長調の音階の音（ドレミファソラシド）を使って、4音の短いメロディを作ってみよう。
-
2. 作ったメロディを、声に出して歌ってみよう。

ポイント

- 決まった音階の中の音を使うと、自然にまとまりのあるメロディになりやすいです。

書いて覚えよう

1. 好きな曲を2曲えらんで、表を完成させよう。

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

音階を、みんなで声を合わせて歌ってみよう。

A (歌う) ド・レ・ミ・ファ

B (続けて) ソ・ラ・シ・ド

A (下りで) ド・シ・ラ・ソ

B (続けて)

ポイント

- Aが前半、Bが後半を歌う「リレー歌い」です。
- 音がずれても大丈夫。何度もくり返して合わせていきましょう。

書いて覚えよう

つまりきは、上達へのステップです。

よくあること

下行のときに音程が不安定になる

似た音の並びで迷う

こうしてみよう

ピアノなどで正しい高さを確認する

全音・半音の位置を書き出す

- 少しずつ確認しながら練習すれば、音程は安定していきます。

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

音階の基本

☐ 音階

音を高さの順に並べたもの

☐ 全音

半音2つ分の間かく

☐ 半音

いちばん小さい間かく

長調

☐ ハ長調

＃・♭を使わない長調

☐ ト長調

ファに＃がつく長調

☐ ヘ長調

シに♭がつく長調

短調

☐ 短音階

長調とはちがう並びの音階

☐ イ短調

うから始まる短音階

☐ 自然・和声・旋律

短音階の3つの種類

その他

☐ 5音音階

5つの音でできた音階

☐ 上行・下行

上がる・下がる音の動き

☐ 雰囲気

音階が生み出す曲の印象

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。音階を知ると、メロディの仕組みが見えてきます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|-----------------|
| ハ長調 | ● | ● ア. いちばん小さい間かく |
| イ短調 | ● | ● イ. 半音2つ分の間かく |
| 5音音階 | ● | ● ウ. 井・bを使わない長調 |
| 全音 | ● | ● エ. 5つの音でできた音階 |
| 半音 | ● | ● オ. ラから始まる短音階 |

2. 音階の始まりの音を書こう

1. ハ長調 → _____
2. イ短調 → _____

3. 正しい言葉を選ぼう

1. 明るく聞こえやすい音階 → (長調 / 短調)
2. 長調とちがう並びを持つ音階 → (ペンタトニック / 短音階)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

ハ長調の音階を1回歌う

頭の中で音階を思い浮かべる

5音音階でメロディを〇ずさむ

けんばん楽器で音階をひく

音階ノートに1行書く

家族と音階クイズを出し合う

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。

発表してみよう・感想を書こう

音階を使った歌や演奏を、人に聴いてもらおう。

発表した音階

歌った・ひいた曲

気づいたこと

聴いてほしい人

Emma の例

発表した音階 ハ長調／歌った曲 自分で作った4音のメロディ／気づいたこと 音階の中だけでも曲になった

感想を3文で書こう

① 音階を学んで、～な発見がありました。② とくに、～のところが面白かったです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

音階の世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

楽譜を見る

好きな曲の音階をさがす

けんばんで

いろいろな調の音階をひいてみる

動画で

世界の音階の演奏を見る

次のステップ

長調と短調

明るさ・暗さの感じ方をくわしく

和音

音階の音を重ねる仕組みを学ぶ

転調

曲の途中で調が変わることを学ぶ

ポイント

- この教材の次は「長調と短調」。音階が生み出す気持ちの変化をさらにくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

1. 音階とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん気になった音階は？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

音階（スケール）チャレンジ

教室の外でも、音階の学びはすぐに楽しめます。

歌おう

ハ長調の音階を上がって下がって歌う

さがそう

好きな曲に使われている音階を考える

作ろう

5音音階で自分だけのメロディを作る

こたえ

L18 1. ド 2. ラ 3. 半音

L33 （例）音階は、音を高さの順に並べたもの。

L26 ハ長調→ウ イ 短調→オ 5音音階→エ 全音→イ 半音→ア 2.
ド / ラ 3. 長調 / 短音階

書いて覚えよう

音階（スケール）（Season 2 | No.16）

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。